公開授業

平成14年度後学期

# オープン・クラス
## 受講生募集要項





*Toyama University Open Class*



富山大学

# 目　　次


Ⅰ　実施形態 …… 2

Ⅱ　受講手続 …… 3

Ⅲ　受講に際して …… 5

Ⅳ　その他 …… 6

オープン・クラス授業科目一覧

◎教養科目・共通基礎科目

・教養教育実施機構 …… 8

◎専門科目

・人文学部 …… 10

・教育学部 …… 12

・経済学部 …… 16

・理学部 …… 18

・工学部 …… 22

建物配置図・交通のご案内 …… 26

富山大学では、本学の授業を一般向けに「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放事業の一環で、各学部及び教養教育実施機構（注）（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生として登録していただく必要があります。なお、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

以下の項目により、受講生として登録していただき、本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

（注）教養教育実施機構とは、教養教育を実施するために本学の全教員で構成される組織です。

# Ⅰ 実 施 形 態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、別添の「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～4年次生対象の授業）

なお、オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

（募集定員）

2　募集定員は、別添の「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順に受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　開講期間は、平成14年10月７日(月）ら平成15年２月４日(火)までです。
授業時間は、次のとおりです。

| 時　限 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 時　間 | 9:00<br>～<br>10:30 | 10:45<br>～<br>12:15 | 13:15<br>～<br>14:45 | 15:00<br>～<br>16:30 | 16:45<br>～<br>18:15 |

**経済学部　夜間主コース**

| | |
|---|---|
| 1　限 | 17:50～19:20 |
| 2　限 | 19:30～21:00 |

（試聴授業等）

4　最初の授業は試聴授業として扱い、また、最終回の授業は単位認定のための試験が実施されることが多いため、非公開授業とします。

# Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　募集要項に同封されている「受講希望調書」を**９月17日(火)から９月30日(月)**までに受講生窓口に直接提出していただくか、または、郵送でお願いいたします。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴期間中にお付けいただきますので、紛失されないようご注意願います。
なお、受付は先着順となりますので「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように試聴期間を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

**試聴期間：平成14年10月7日(月)～平成14年10月11日(金)**

なお、授業担当教官の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、試聴期間中に授業担当教官に提示し、確認のサイン等を受け、受講生窓口にご提出ください。

受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・写真（受講証用：3㎝×4㎝）（裏面に氏名を記入）1枚
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

受講生窓口は、次のとおりです。

〒930-8555　富山市五福3190

富山大学生涯学習教育研究センター　　電話076－445－6956

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は文部科学省の規定に基づく公開講座講習料により徴収させていただきます。

1授業科目　7,800円

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用は、受講生の負担となります。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

なお、「受講証」に貼付する顔写真（3㎝×4㎝）1枚は、あらかじめご用意願います。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は1部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

# Ⅲ　受講に際して

（図書館の利用）

1　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

2　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（受講生の呼び出し等）

3　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（受講生の義務）

4　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障を来たさないよう努めていただくとともに、授業担当教官の指示に従ってください。

（受講の停止）

5　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（損 害 賠 償）

6　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（通 学 方 法）

7　キャンパスは狭隘のため、駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。

これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

（保 険 制 度）

8　受講生は、学生教育研究災害傷害保険に加入できます。この保険は、①正課中、②学校行事中、①②以外で学校施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間に生じた急激かつ偶発な外来事故、通学中の事故及び学校施設等相互間の移動中に身体に傷害を被った場合に保険金が支払われる制度です。

保険料は年間950～1,200円と低廉ですので加入をお勧めします。

加入希望される場合は、受講生窓口（生涯学習教育研究センター）で手続きを行ってください。

# Ⅳ　そ　の　他

（問い合わせ先、総合案内先）

1　「オープン・クラス」に関するお問い合わせは、下記の受講生窓口（総合案内）までお願いします。

・生涯学習教育研究センター　　電話076－445－6956

2　授業内容の紹介（シラバス）は、受講生窓口において自由にご覧いただくことができます。また、本学のホームページ（http://www.toyama-u.ac.jp/）の「学部・施設・事務局」のページに各学部（工学部及び教養教育実施機構を除く。教育学部は学内でのみ閲覧可能）の授業内容の紹介（シラバス）が掲載されておりますのでご覧ください。工学部及び教養教育実施機構についても準備が整い次第、掲載いたします。

なお、「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

| | |
|---|---|
| ○学生部学生課教養教育係［教養教育実施機構］ | |
| | 電話076－445－6031 |
| ○人文学部 | |
| 教務第一係 | 電話076－445－6138 |
| ○教育学部 | |
| 教務係 | 電話076－445－6259 |
| ○経済学部 | |
| 教務係 | 電話076－445－6408 |
| ○理学部 | |
| 教務第二係 | 電話076－445－6546 |
| ○工学部 | |
| 教務係 | 電話076－445－6698 |

# オープン・クラス授業科目一覧の説明等

1　「授業曜日・時限」欄の「金・3」とは、金曜日の3時限を示します。

なお、授業時間は、次のとおりとなっています。

| 時　限 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 時　間 | 9:00<br>～<br>10:30 | 10:45<br>～<br>12:15 | 13:15<br>～<br>14:45 | 15:00<br>～<br>16:30 | 16:45<br>～<br>18:15 |

**経済学部　夜間主コース**

| | |
|---|---|
| 1　限 | 17:50～19:20 |
| 2　限 | 19:30～21:00 |

2　難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分しています。

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学1年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学2～3年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学3～4年次生対象の授業）

3　受講料が7,800円以外の科目については、備考欄にその金額を記載してあります。

4　一部、学期の途中から始まる授業があります。この授業の受講を希望する方は、授業の開始日に受講生窓口において指示を受けてください。

5　事前に教室配置図等で講義室をご確認ください。

なお、受講者数等の関係で講義室が変更になることがあります。教官の指示や変更掲示にご注意ください。

# オープン・クラス授業科目一覧

## 教養教育実施機構

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 | | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学科等 | 氏名 | | | | | |
| 1 | 哲学のすすめ | 人文学部 | 木下　喬 | 木・5 | | 5 | A | |
| 2 | 人間と倫理 | 人文学部 | 岡村信孝 | 火・5 | | 10 | A | |
| 3 | こころの科学 | 人文学部 | 黒川光流 | 火・2 | | 5 | A | |
| 4 | こころの科学 | 教育学部 | 姜　信善 | 火・5 | | 5 | A | |
| 5 | こころの科学 | 人文学部 | 海老原直邦 | 木・5 | | 10 | A | |
| 6 | 日本の歴史と社会 | 人文学部 | 高橋浩二 | 木・5 | | 5 | A | |
| 7 | 東洋の歴史と社会 | 人文学部 | 鈴木信昭 | 火・5 | | 20 | A | |
| 8 | 日本文学 | 教育学部 | 呉羽　長 | 月・2 | | 5 | A | |
| 9 | 日本文学 | 人文学部 | 二村文人 | 月・夜1 | | 10 | A | |
| 10 | 言語と文化 | 人文学部 | 呉人　恵 | 火・1 | | 10 | A | |
| 11 | 言語と文化 | 人文学部 | 安藤智子 | 火・2 | | 5 | A | |
| 12 | 言語と文化 | 人文学部 | 小助川貞次 | 月・夜1 | | 10 | A | |
| 13 | 音楽 | 教育学部 | 深見友紀子 | 木・5 | | 10 | A | |
| 14 | 美術 | 教育学部 | 上山　輝 | 木・5 | | 5 | A | |
| 15 | 日本国憲法 | 経済学部 | 八木保夫 | 火・2 | | 5 | A | |
| 16 | 日本国憲法 | 経済学部 | 篠原　巖 | 木・5 | | 5 | A | |
| 17 | 企業と仕事 | 経済学部 | 馬　駿 | 火・5 | | 10 | A | |
| 18 | 日本の企業経営 | 経済学部 | 古川　勝 | 火・2 | | 20 | A | |
| 19 | 日本の企業経営 | 経済学部 | 水谷内徹也 | 火・5 | | 5 | A | |
| 20 | 地球の環境 | 理学部 | 佐竹　洋 | 月・2 | | 20 | A | |
| 21 | 地球の環境 | 理学部 | 清水正明 | 火・1 | | 5 | A | |
| 22 | 生命の世界 | 理学部 | 鈴木邦雄 | 月・2 | | 10 | A | |
| 23 | 生命の世界 | 理学部 | 小松美英子 | 火・1 | | 5 | A | |
| 24 | 生命の世界 | 工学部 | 畠山豊正 | 木・5 | | 10 | A | |
| 25 | 化学物質の世界 | 工学部 | 黒田重靖 | 火・1 | | 10 | A | |
| 26 | 物質の構造 | 理学部 | 桑井智彦 | 月・2 | | 5 | A | |
| 27 | 社会と情報の数理 | 理学部 | 東川和夫 | 火・5 | | 2 | A | |
| 28 | 社会と情報の数理 | 経済学部 | 横山一憲 | 金・夜1 | | 10 | A | |
| 29 | 材料の科学 | 水素同位体科学研究センター | 波多野雄治 | 木・5 | | 5 | A | |
| 30 | 技術の世界 | 工学部 | 升方勝己 | 金・夜1 | | 10 | A | |
| 31 | 生活の科学 | 教育学部 | 加藤征江 | 火・5 | | 5 | A | |

## 教養教育実施機構

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 32 | コンピュータの話 | 工学部 | 酒井　充 | 月・2 | | 5 | A | |
| 33 | 総合科目 人権と福祉 | 人文学部 | 立川健治 | 火・5 | | 10 | A | |
| 34 | 総合科目 科学と社会 | 理学部 | 金坂　績 | 火・5 | | 5 | A | |
| 35 | 総合科目 技術と社会 | 工学部 | 竹越栄俊 | 火・5 | | 10 | A | |
| 36 | 総合科目 環日本海 | 経済学部 | 森岡　裕 | 火・5 | | 10 | A | |
| 37 | 総合科目 生と死 | 理学部 | 山口晴司 | 木・5 | | 10 | A | |
| 38 | 総合科目 人権と福祉 | 人文学部 | 吉田俊則 | 木・5 | | 10 | A | |
| 39 | 総合科目 特殊講義 地域と人間（4） | 生涯学習教育研究センター | 仲嶺政光 | 木・5 | | 20 | A | |
| 40 | 英語Ｂ4 | 教育学部 | 荻原　洋 | 月・3 | | 5 | B | |
| 41 | ドイツ語Ｂ4 | 人文学部 | 阿部美規 | 火・1 | | 5 | B | 初級以上の知識を問う面接を行う |
| 42 | ドイツ語Ｂ4 | 人文学部 | 宮内伸子 | 木・1 | | 3 | B | |
| 43 | ドイツ語Ｂ4 | 人文学部 | 山本孝一 | 金・4 | | 3 | B | |
| 44 | ロシア語Ｂ4 | 人文学部 | 矢澤英一 | 月・2 | | 5 | B | |
| 45 | 中国語Ｂ4 | 人文学部 | 末岡　宏 | 月・4 | | 10 | B | |
| 46 | 朝鮮語Ｂ4 | 人文学部 | 藤本幸夫 | 月・2 | | 3 | B | |
| 47 | 朝鮮語Ｂ4 | 人文学部 | 和田とも美 | 木・5 | | 5 | B | |
| 48 | 健康・スポーツ論 | 教育学部 | 横山泰行 | 水・1 | | 5 | A | 5,800円<br>10/9～11/20 |
| 49 | 健康・スポーツ論 | 教育学部 | 横山泰行 | 木・1 | | 5 | A | 5,800円 |
| 50 | 健康・スポーツ論 | 教育学部 | 横山泰行 | 木・2 | | 5 | A | 5,800円 |
| 51 | 健康・スポーツ演習 | 教育学部 | 鳥海清司 | 月・3 | | 5 | B | 5,800円 |
| 52 | 健康・スポーツ演習 | 教育学部 | 横山泰行 | 水・1 | | 5 | A | 5,800円<br>11/27～1/22 |
| 53 | コロキアム　競馬学 | 人文学部 | 立川健治 | 火・5 | | 5 | A | |
| 54 | コロキアム'世界の映画 | 人文学部 | 末岡　宏 | 金・3 | | 50 | A | |
| 55 | コロキアム'環境モニタリング | 理学部 | 竹内　章 | 木・4 | | 2 | A | |
| 56 | コロキアム'ドラえもんの世界 | 教育学部 | 横山泰行 | 金・5 | | 10 | A | |

※講義室については、「受講希望調書」提出時に受講生窓口で確認ください。

## 人文学部

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 哲学概論 | 人文学科 | 木下　喬 | 火・4 | 6 | 3 | B | |
| 2 | 哲学特殊講義 | 人文学科 | 木下　喬 | 木・2 | 3 | 3 | B | |
| 3 | 哲学講読 | 人文学科 | 木下　喬 | 木・3 | 601 | 2 | A | |
| 4 | 倫理思想 | 人文学科 | 田畑真美 | 火・2 | 1 | 5 | B | |
| 5 | 宗教思想 | 人文学科 | 松崎一平 | 木・3 | 2 | 10 | B | |
| 6 | 現代と思想 | 人文学科 | 岡村信孝 | 水・2 | 3 | 10 | B | |
| 7 | 人間学演習 | 人文学科 | 岡村信孝 | 月・4 | 601 | 3 | B | |
| 8 | 人間学演習 | 人文学科 | 松崎一平 | 金・2 | 601 | 5 | B | |
| 9 | 人間学演習 | 人文学科 | 田畑真美 | 火・3 | 601 | 2 | C | |
| 10 | 人間学講読 | 人文学科 | 岡村信孝 | 木・1 | 3 | 3 | A | |
| 11 | 人間学講読 | 人文学科 | 松崎一平 | 火・1 | 5 | 10 | A | |
| 12 | 人間学講読 | 人文学科 | 田畑真美 | 木・4 | 601 | 2 | B | |
| 13 | 日本史概説 | 人文学科 | 鈴木景二 | 月・3 | 6 | 3 | B | |
| 14 | 日本史演習 | 人文学科 | 富田正弘 | 木・4 | 605 | 2 | B | |
| 15 | 日本史基礎演習 | 人文学科 | 鈴木景二 | 木・2 | 605 | 3 | A | |
| 16 | 古文書学実習 | 人文学科 | 富田正弘 | 木・3 | 605 | 2 | B | |
| 17 | 東洋史特殊講義 | 人文学科 | 小谷仲男 | 火・2 | 2 | 5 | B | |
| 18 | 東洋史演習(1) | 人文学科 | 小谷仲男 | 月・2 | 505 | 2 | B | |
| 19 | 西洋史概説 | 人文学科 | 小林　功 | 火・3 | 4 | 10 | B | |
| 20 | 言語学概論 | 人文学科 | 呉人　恵 | 火・3 | 6 | 10 | B | |
| 21 | 音声学 | 人文学科 | 加藤重広 | 月・3 | 1 | 5 | C | 一般音声学の初級レベルを学習済みであること |
| 22 | 心理学概論 | 人文学科 | 黒川光流 | 月・3 | 4 | 2 | A | |
| 23 | 心理学特殊講義 | 人文学科 | 海老原直邦 | 金・2 | 4 | 10 | B | |
| 24 | 日本の社会と文化 | 国際文化学科 | 立川健治 | 木・4 | 1 | 10 | B | |
| 25 | 国際文化論演習Ⅰ | 国際文化学科 | 吉田俊則<br>末岡宏<br>藤野真子<br>小野直子 | 金・5 | 2 | 10 | B | |
| 26 | 中国文化講読 | 国際文化学科 | 末岡　宏 | 木・2 | 502 | 5 | C | |
| 27 | 外国語演習(中国語) | 国際文化学科 | 末岡宏<br>藤野真子 | 月・5 | LL | 5 | B | |
| 28 | 日本文化講読 | 国際文化学科 | 立川健治 | 火・4 | 502 | 5 | B | |
| 29 | 日本文化演習 | 国際文化学科 | 立川健治 | 火・3 | 502 | 5 | B | |
| 30 | 考古学概論 | 国際文化学科 | 黒崎　直 | 水・2 | 6 | 2 | B | |
| 31 | 考古学特殊講義 | 国際文化学科 | 黒崎　直 | 木・2 | 5 | 2 | C | |
| 32 | 人文地理学概論(1) | 国際文化学科 | 浜谷正人 | 木・3 | 4 | 5 | A | |

## 人文学部

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 人文地理学演習 | 国際文化学科 | 大西宏治 | 金・3 | 402 | 2 | C | コンピューターリテラシーの基礎的知識が不可欠 |
| 34 | 文化人類学概論 | 国際文化学科 | 竹内潔<br>都留泰作 | 木・4 | 6 | 10 | A | |
| 35 | 文化人類学演習(1) | 国際文化学科 | 竹内潔 | 月・3 | 401 | 2 | C | |
| 36 | 文化人類学演習(2) | 国際文化学科 | 都留泰作 | 金・3 | 401 | 2 | C | 事前に授業内容の説明 |
| 37 | 比較社会概論 | 国際文化学科 | 林夏生 | 木・1 | 6 | 10 | A | |
| 38 | 比較社会論講読 | 国際文化学科 | 林夏生 | 金・2 | 1 | 3 | C | |
| 39 | 日本語学特殊講義 | 言語文化学科 | 小助川貞次 | 木・2 | 2 | 5 | B | |
| 40 | 日本文学特殊講義 | 言語文化学科 | 田村俊介 | 火・3 | 1 | 10 | B | |
| 41 | 朝鮮言語文化演習 | 言語文化学科 | 藤本幸夫 | 月・5 | 211 | 3 | C | |
| 42 | 朝鮮言語文化講読 | 言語文化学科 | 藤本幸夫 | 月・2 | 211 | 3 | C | |
| 43 | 朝鮮言語文化概論 | 言語文化学科 | 藤本幸夫 | 火・4 | 211 | 3 | B | |
| 44 | 朝鮮学入門 | 言語文化学科 | 和田とも美 | 月・5 | 3 | 10 | A | |
| 45 | 中国言語文化演習 | 言語文化学科 | 大野圭介 | 月・2 | 417 | 2 | B | |
| 46 | 中国言語文化講読 | 言語文化学科 | 大野圭介 | 金・3 | 417 | 2 | B | |
| 47 | 英米言語文化特殊講義 | 言語文化学科 | 赤尾千波 | 月・5 | 6 | 2 | C | 毎回英文プリントの訳読、英語視聴覚教材の聴き取りを行う |
| 48 | 英米言語文化演習B | 言語文化学科 | 赤尾千波 | 金・3 | 4 | 2 | C | 〃 |
| 49 | 英語史I | 言語文化学科 | 小川洋通 | 火・1 | 1 | 3 | B | |
| 50 | 英文法I | 言語文化学科 | 奥村譲 | 月・1 | 2 | 10 | B | |
| 51 | 英語学演習B | 言語文化学科 | 小川洋通 | 木・2 | 214 | 3 | C | |
| 52 | 専門基礎ドイツ語 | 言語文化学科 | 宮内伸子 | 木・4 | LL | 2 | B | 半年間のドイツ語学習歴が条件 |
| 53 | ドイツ言語文化演習 | 言語文化学科 | 北村純一 | 木・2 | 416 | 3 | B | |
| 54 | ドイツ言語文化講読 | 言語文化学科 | 阿部美規 | 月・1 | 416 | 2 | B~C | 事前に、面接、口頭及び筆記試験を課す |
| 55 | ドイツ言語文化講読 | 言語文化学科 | 別本明夫 | 金・3 | 416 | 2 | B | 中級程度のドイツ語学力が必要 |
| 56 | ドイツ文学史 | 言語文化学科 | 山本孝一 | 木・1 | 416 | 2 | B | ドイツ語による資料使用 |
| 57 | フランス文化論 | 言語文化学科 | 中島淑恵 | 木・2 | 319 | 3 | A | 初級程度のフランス語力が必要 |

## 教育学部

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 〔共通〕国際理解 | 生涯教育課程 | 藤原孝章 | 火・4 | | 5名程度 | A | |
| 2 | 〔共通〕生涯発達論 | 教育学部附属教育実践総合センター | 塚野州一 | 木・4 | | 5名程度 | A | |
| 3 | 〔教職〕学習心理学 | 学校教育教員養成課程 | 村上宣寛 | 木・4 | | 3名以内 | C | |
| 4 | 〔教職〕教育行政 | 生涯教育課程 | 堀井啓幸 | 火・3 | | 10名程度 | B | |
| 5 | 〔教職〕社会科教育法（初等） | 生涯教育課程 | 藤原孝章 | 木・2 | | 3名以内 | C | |
| 6 | 〔教職〕算数科教育法（初等） | 学校教育教員養成課程 | 岸本忠之 | 木・4 | | 5名程度 | B | |
| 7 | 〔教職〕生活科教育法（初等） | 学校教育教員養成課程 | 松本謙一 | 水・2 | | 10名程度 | B | |
| 8 | 〔教職〕家庭科教育法（初等） | 学校教育教員養成課程 | 磯崎尚子 | 火・2 | | 3名以内 | B | |
| 9 | 〔教職〕数学科教育法（中等）（Ⅱ） | 学校教育教員養成課程 | 岸本忠之 | 金・1 | | 5名程度 | B | |
| 10 | 〔教職〕理科教育法（中等）（Ⅱ） | 学校教育教員養成課程 | 原稔<br>松本謙一 | 金・1 | | 5名程度 | B | |
| 11 | 〔教職〕技術科教育法（中等）（Ⅱ） | 学校教育教員養成課程 | 魚住明生 | 金・2 | | 3名以内 | B | |
| 12 | 〔教職〕公民科教育法（Ⅰ） | 生涯教育課程 | 藤原孝章 | 金・1 | | 3名以内 | C | |
| 13 | 〔教職〕情報科教育法Ⅱ | 教育学部附属教育実践総合センター | 小川亮 | 火・4 | | 5名程度 | C | |
| 14 | 〔教育学〕〈特設科目〉総合的な学習の研究 | 生涯教育課程 | 藤原孝章他 | 水・1 | | 3名以内 | C | |
| 15 | 〔心理〕青年心理学 | 学校教育教員養成課程 | 姜信善 | 木・5 | | 3名以内 | B | |
| 16 | 〔幼児〕幼児教育学概論 | 学校教育教員養成課程 | 生田貞子 | 金・2 | | 5名程度 | B | |
| 17 | 〔幼児〕幼児心理学概論 | 学校教育教員養成課程 | 小林真 | 月・3 | | 5名程度 | B | |
| 18 | 〔幼児〕家庭教育論 | 学校教育教員養成課程 | 吉見昌弘 | 月・3 | | 5名程度 | B | 〔家政〕保育学Ⅱと同時開講 |
| 19 | 〔幼児〕幼児教育課程論 | 学校教育教員養成課程 | 生田貞子 | 金・3 | | 5名程度 | B | |
| 20 | 〔幼児〕子どもと表現Ⅲ（美術） | 学校教育教員養成課程 | 長谷川総一郎 | 月・2 | | 3名以内 | B | |
| 21 | 〔幼児〕＜特設科目＞障害児保育 | 学校教育教員養成課程 | 小林真 | 火・5 | | 5名程度 | B | 〔発達〕発達障害幼児学と同時開講 |
| 22 | 〔障害児〕障害児教育原論 | 学校教育教員養成課程 | 安達勇作 | 火・1 | | 5名程度 | C | |
| 23 | 〔障害児〕知的障害児教育概論 | 学校教育教員養成課程 | 安達勇作 | 木・2 | | 5名程度 | C | |
| 24 | 〔障害児〕知的障害児心理学 | 学校教育教員養成課程 | 芝垣正光 | 水・1 | | 3名以内 | C | |
| 25 | 〔障害児〕障害児病理学 | 学校教育教員養成課程 | 芝垣正光 | 木・1 | | 3名以内 | C | |
| 26 | 〔国語〕国語学各論 | 生涯教育課程 | 樋野幸男 | 火・1 | | 5名程度 | B | 〔人間〕日本語論と同時開講 |
| 27 | 〔国語〕国語学概論 | 生涯教育課程 | 樋野幸男 | 水・2 | | 5名程度 | A | 〔人間〕日本語概説と同時開講 |
| 28 | 〔国語〕日本文学各論Ⅰ（古典） | 学校教育教員養成課程 | 呉羽長 | 火・3 | | 3名以内 | B | 〔人間〕日本文化論と同時開講 |
| 29 | 〔英語〕英語音声学Ⅰ | 生涯教育課程 | 荻原洋 | 月・2 | | 3名以内 | B | |
| 30 | 〔英語〕英文法Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 内木場努 | 火・2 | | 3名以内 | B | |
| 31 | 〔英語〕英語史 | 生涯教育課程 | 荻原洋 | 金・4 | | 3名以内 | B | |
| 32 | 〔社会〕西洋史学各論Ⅱ | 生涯教育課程 | 徳橋曜 | 金・4 | | 10名程度 | A | 〔人間〕ヨーロッパ世界と歴史Ⅲと同時開講 |
| 33 | 〔社会〕人文地理学各論Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 山根拓 | 火・1 | | 3名以内 | B | |

## 教育学部

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 〔社会〕法律学各論 | 非常勤講師 | 青野　透 | 月・3 | | 3名以内 | A | |
| 35 | 〔社会〕政治学各論Ⅱ | 生涯教育課程 | 佐藤幸男 | 水・2 | | 5名程度 | A | 〔人間〕教育協力開発論と同時開講 |
| 36 | 〔社会〕社会学概論Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 平川毅彦 | 火・2 | | 3名以内 | A | |
| 37 | 〔社会〕社会学各論Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 平川毅彦 | 木・2 | | 3名以内 | B | |
| 38 | 〔社会〕経済学各論Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 根岸秀行 | 木・4 | | 3名以内 | B | |
| 39 | 〔社会〕心理学概論 | 教育学部附属教育実践総合センター | 塚野州一 | 木・1 | | 5名程度 | A | 〔発達〕生涯発達心理学概論と同時開講 |
| 40 | 〔社会〕社会科特別講義(公民) | 非常勤講師 | 斉藤千宏 | 集中講義 | | 5名程度 | A | |
| 41 | 〔数学〕解析学Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 斉藤宣一 | 水・1 | | 5名程度 | A | |
| 42 | 〔数学〕数学セミナー | 学校教育教員養成課程 | 斉藤宣一 | 火・4 | | 5名程度 | B | |
| 43 | 〔理科〕一般物理学Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 清水健次 | 水・2 | | 3名以内 | A | |
| 44 | 〔理科〕物理学各論Ⅲ | 学校教育教員養成課程 | 市瀬和義 | 月・5 | | 3名以内 | A | |
| 45 | 〔理科〕化学各論Ⅳ | 学校教育教員養成課程 | 竹内茂彌 | 月・2 | | 3名以内 | B | 〔人間〕環境とリサイクルと同時開講 |
| 46 | 〔理科〕化学各論Ⅴ | 非常勤講師 | 山口晴司 | 火・2 | | 3名以内 | C | 〔人間〕環境化学演習と同時開講 |
| 47 | 〔理科〕生物学総論Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 渡邊　信 | 木・1 | | 3名以内 | A | |
| 48 | 〔理科〕生物学各論Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 布村忠弘 | 月・1 | | 3名以内 | A | |
| 49 | 〔理科〕生物学各論Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 田中　晋 | 火・3 | | 3名以内 | B | |
| 50 | 〔理科〕生物学各論Ⅴ | 生涯教育課程 | 横畑泰志 | 木・2 | | 10名程度 | A | 〔人間〕環境生物学総論と同時開講 |
| 51 | 〔理科〕地学総論Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 椚座圭太郎 | 火・4 | | 10名程度 | A | |
| 52 | 〔理科〕地学各論Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 椚座圭太郎 | 火・2 | | 3名以内 | C | |
| 53 | 〔理科〕地学各論Ⅴ | 生涯教育課程 | 青木一真 | 火・5 | | 3名以内 | B | |
| 54 | 〔理科〕理科教育総論 | 学校教育教員養成課程 | 原　稔 | 火・1 | | 5名程度 | A | |
| 55 | 〔技術〕金属加工学 | 学校教育教員養成課程 | 中井　学 | 月・3 | | 3名以内 | A | |
| 56 | 〔技術〕電気・電子工学概論 | 学校教育教員養成課程 | 山下正人 | 金・4 | | 5名程度 | A | |
| 57 | 〔技術〕電気応用 | 非常勤講師 | 堀田裕弘 | 水・2 | | 5名程度 | B | |
| 58 | 〔家政〕家庭管理学 | 生涯教育課程 | 神川康子 | 水・2 | | 5名程度 | B | 〔人間〕生活経営論と同時開講 |
| 59 | 〔家政〕被服衛生学 | 生涯教育課程 | 諸岡晴美 | 木・2 | | 5名程度 | B | 〔人間〕衣環境論Ⅰと同時開講 |
| 60 | 〔家政〕食品学 | 学校教育教員養成課程 | 加藤征江 | 木・1 | | 5名程度 | B | 〔人間〕食品基礎論と同時開講 |
| 61 | 〔家政〕住環境論 | 生涯教育課程 | 神川康子 | 金・1 | | 10名程度 | A | 〔人間〕住環境論と同時開講 |
| 62 | 〔家政〕住居学演習 | 生涯教育課程 | 神川康子 | 金・4 | | 3名以内 | C | 〔人間〕住環境論演習と同時開講 |
| 63 | 〔家政〕保育学Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 吉見昌弘 | 月・3 | | 5名程度 | B | 〔幼児〕家庭教育論と同時開講 |
| 64 | 〔家政〕情報処理 | 学校教育教員養成課程 | 吉見昌弘 | 月・2 | | 3名以内 | B | |
| 65 | 〔音楽〕音楽理論 | 学校教育教員養成課程 | 松本　清 | 月・5 | | 5名程度 | B | |
| 66 | 〔美術〕彫刻Ⅰ | 学校教育教員養成課程 | 長谷川　総一郎 | 木・4,5 | | 3名以内 | B | １１,８００円 |

## 教育学部

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67 | 〔美術〕彫刻技法演習 | 学校教育教員養成課程 | 長谷川　総一郎 | 水・2 | | 3名以内 | B | |
| 68 | 〔美術〕造形の基礎Ⅱ | 学校教育教員養成課程 | 長谷川　総一郎 | 木・2 | | 3名以内 | B | |
| 69 | 〔美術〕デザインⅢ | 情報教育課程 | 古川　政明 | 水・1,2 | | 5名程度 | A | 〔マルチ〕環境情報デザインと同時開講 １１,８００円 |
| 70 | 〔保健〕体育心理学 | 学校教育教員養成課程 | 山地　啓司 | 木・4 | | 5名程度 | B | 〔生涯〕スポーツ心理学と同時開講 |
| 71 | 〔保健〕体育生理学 | 学校教育教員養成課程 | 山地　啓司 | 月・1 | | 10名程度 | B | 〔生涯〕スポーツ生理学と同時開講 |
| 72 | 〔保健〕発育学 | 生涯教育課程 | 横山　泰行 | 金・3 | | 3名以内 | A | |
| 73 | 〔発達〕生涯発達心理学概論 | 教育学部附属教育実践総合センター | 塚野　州一 | 木・1 | | 5名程度 | A | 〔社会〕心理学概論と同時開講 |
| 74 | 〔発達〕生涯発達心理学各論 | 教育学部附属教育実践総合センター | 塚野　州一 | 火・1 | | 10名程度 | B | |
| 75 | 〔発達〕臨床カウンセリング演習 | 教育学部附属教育実践総合センター | 稲垣　応顕 | 火・2 | | 5名程度 | A | |
| 76 | 〔発達〕臨床心理診断法Ⅱ | 教育学部附属教育実践総合センター | 稲垣　応顕 | 水・1 | | 5名程度 | B | |
| 77 | 〔発達〕臨床心理研究法 | 学校教育教員養成課程 | 小林　真 | 月・5 | | 3名以内 | C | |
| 78 | 〔発達〕発達障害幼児学 | 学校教育教員養成課程 | 小林　真 | 火・5 | | 5名程度 | B | 〔幼児〕＜特設科目＞障害児保育と同時開講 |
| 79 | 〔発達〕余暇論 | 生涯教育課程 | 横山　泰行 | 金・1 | | 3名以内 | A | 〔生涯〕余暇論及び〔人間〕余暇論と同時開講 |
| 80 | 〔生涯〕生涯スポーツ論 | 生涯教育課程 | 横山　泰行 | 火・1 | | 3名以内 | A | |
| 81 | 〔生涯〕余暇論 | 生涯教育課程 | 横山　泰行 | 金・1 | | 3名以内 | A | 〔発達〕余暇論及び〔人間〕余暇論と同時開講 |
| 82 | 〔生涯〕スポーツ心理学 | 学校教育教員養成課程 | 山地　啓司 | 木・4 | | 5名程度 | B | 〔保健〕体育心理学と同時開講 |
| 83 | 〔生涯〕スポーツ生理学 | 学校教育教員養成課程 | 山地　啓司 | 月・1 | | 10名程度 | B | 〔保健〕体育生理学と同時開講 |
| 84 | 〔生涯〕スポーツ・マーケティング演習 | 生涯教育課程 | 横山　泰行 | 水・2 | | 3名以内 | A | |
| 85 | 〔人間〕共生社会論（含・学外活動実習） | 非常勤講師 | 古橋　政子 | 集中講義 | | 3名以内 | A | |
| 86 | 〔人間〕環境物理学演習 | 生涯教育課程 | 青木　一真 | 木・3 | | 3名以内 | B | |
| 87 | 〔人間〕環境化学演習 | 非常勤講師 | 山口　晴司 | 火・2 | | 3名以内 | C | 〔理科〕化学各論Ⅴと同時開講 |
| 88 | 〔人間〕環境生物学総論 | 生涯教育課程 | 横畑　泰志 | 木・2 | | 10名程度 | A | 〔理科〕生物学各論Ⅴと同時開講 |
| 89 | 〔人間〕環境地学総論 | 生涯教育課程 | 宇井　啓高 | 火・1 | | 5名程度 | B | |
| 90 | 〔人間〕環境地学演習 | 生涯教育課程 | 宇井　啓高 | 火・3 | | 5名程度 | C | |
| 91 | 〔人間〕自然環境特論Ⅰ | 非常勤講師 | 林　進 | 集中講義 | | 10名程度 | A | |
| 92 | 〔人間〕自然環境教育法 | 学校教育教員養成課程 | 原　稔 | 金・1 | | 5名程度 | B | |
| 93 | 〔人間〕住環境論 | 生涯教育課程 | 神川　康子 | 金・1 | | 10名程度 | A | 〔家政〕住環境論と同時開講 |
| 94 | 〔人間〕住環境論演習 | 生涯教育課程 | 神川　康子 | 金・4 | | 3名以内 | C | 〔家政〕住居学演習と同時開講 |
| 95 | 〔人間〕衣環境論Ⅰ | 生涯教育課程 | 諸岡　晴美 | 木・2 | | 5名程度 | B | 〔家政〕被服衛生学と同時開講 |
| 96 | 〔人間〕食品基礎論 | 学校教育教員養成課程 | 加藤　征江 | 木・1 | | 5名程度 | B | 〔家政〕食品学と同時開講 |
| 97 | 〔人間〕環境とリサイクル | 学校教育教員養成課程 | 竹内　茂彌 | 月・2 | | 3名以内 | B | 〔理科〕化学各論Ⅳと同時開講 |
| 98 | 〔人間〕生活福祉論 | 学校教育教員養成課程 | 吉見　昌弘 | 金・4 | | 5名程度 | B | |
| 99 | 〔人間〕生活経営論 | 生涯教育課程 | 神川　康子 | 水・2 | | 5名程度 | B | 〔家政〕家庭管理学と同時開講 |

## 教育学部

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100 | 〔人間〕感性工学 | 生涯教育課程 | 諸岡晴美 | 火・3 | | 3名以内 | C | |
| 101 | 〔人間〕生活環境デザイン演習 | 情報教育課程 | 古川政明 | 水・2 | | 5名程度 | A | |
| 102 | 〔人間〕余暇論 | 生涯教育課程 | 横山泰行 | 金・1 | | 3名以内 | A | 〔発達〕余暇論及び〔生涯〕余暇論と同時開講 |
| 103 | 〔人間〕地球市民社会論 | 非常勤講師 | 斉藤千宏 | 集中講義 | | 5名程度 | A | |
| 104 | 〔人間〕教育協力開発論 | 生涯教育課程 | 佐藤幸男 | 水・2 | | 5名程度 | A | 〔社会〕政治学各論Ⅱと同時開講 |
| 105 | 〔人間〕環境と経済 | 学校教育教員養成課程 | 根岸秀行 | 金・3 | | 3名以内 | B | |
| 106 | 〔人間〕ヨーロッパ世界と歴史Ⅲ | 生涯教育課程 | 徳橋曜 | 金・4 | | 10名程度 | A | 〔社会〕西洋史学各論Ⅱと同時開講 |
| 107 | 〔人間〕日本語概説 | 生涯教育課程 | 樋野幸男 | 水・2 | | 5名程度 | A | 〔国語〕国語学概論と同時開講 |
| 108 | 〔人間〕日本文化論 | 学校教育教員養成課程 | 呉羽長 | 火・3 | | 3名以内 | B | 〔国語〕日本文学各論Ⅰ（古典）と同時開講 |
| 109 | 〔人間〕日本語論 | 生涯教育課程 | 樋野幸男 | 火・1 | | 5名程度 | B | 〔国語〕国語学各論と同時開講 |
| 110 | 〔人間〕生活環境ゼミナール | 生涯教育課程 | 神川康子 | 火・2 | | 3名以内 | C | |
| 111 | 〔人間〕生活環境ゼミナール | 生涯教育課程 | 諸岡晴美 | 水・2 | | 3名以内 | C | |
| 112 | 〔システム〕情報処理演習Ⅱ | 情報教育課程 | 大森克史 | 月・4 | | 3名以内 | B | |
| 113 | 〔システム〕情報通信ネットワーク管理 | 情報教育課程 | 黒田卓 | 火・1 | | 5名程度 | B | |
| 114 | 〔システム〕情報数学 | 情報教育課程 | 大森克史 | 火・3 | | 5名程度 | B | |
| 115 | 〔システム〕情報通信ネットワーク演習 | 非常勤講師 | 中川郁夫 | 集中講義 | | 3名以内 | B | |
| 116 | 〔システム〕授業システム論 | 教育学部附属教育実践総合センター | 小川亮 | 火・3 | | 3名以内 | B | |
| 117 | 〔システム〕教育情報システム設計 | 情報教育課程 | 山西潤一 | 月・2 | | 5名程度 | B | |
| 118 | 〔システム〕音響メディア概論 | 情報教育課程 | 深見友紀子 | 木・3 | | 5名程度 | B | 〔マルチ〕音響メディア概論と同時開講 |
| 119 | 〔システム〕情報と職業 | 教育学部附属教育実践総合センター | 小川亮 | 木・4 | | 3名以内 | C | |
| 120 | 〔マルチ〕芸術史　－美術－ | 情報教育課程 | 鼓みどり | 火・2 | | 5名程度 | A | |
| 121 | 〔マルチ〕芸術論（音楽・美術）－美術－ | 情報教育課程 | 鼓みどり | 木・2 | | 5名程度 | B | |
| 122 | 〔マルチ〕芸術論（音楽・美術）－音楽－ | 情報教育課程 | 森田信一 | 木・4 | | 5名程度 | B | |
| 123 | 〔マルチ〕音響メディア概論 | 情報教育課程 | 深見友紀子 | 木・3 | | 5名程度 | B | 〔システム〕音響メディア概論と同時開講 |
| 124 | 〔マルチ〕環境情報デザイン | 情報教育課程 | 古川政明 | 水・1,2 | | 5名程度 | A | 〔美術〕デザインⅢと同時開講 １１,８００円 |

※講義室については、「受講希望調書」提出時に受講生窓口で確認ください。

## 経済学部

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ミクロ経済学 | 経済 | 大坂　洋 | 水・1，金・3 | | 20 | C | 12,800円 |
| 2 | ミクロ経済学 | 経済 | 岩田真一郎 | 火・夜1，2 | | 5 | A | 12,800円 |
| 3 | マクロ経済学 | 経済 | 若林丈靖 | 火・2，木・1 | | 5 | A | 12,800円 |
| 4 | マクロ経済学 | 経済 | 新里泰孝 | 木・夜1，2 | | 3 | A | 12,800円 |
| 5 | 特殊講義　応用ミクロ経済学 | 経済 | 古田俊吉 | 月・5 | | 3 | C | |
| 6 | 特殊講義　開発経済学 | 経済 | 金　奉吉 | 月・2，金・1 | | 3 | B | 12,800円 |
| 7 | 経済史総論 | 経済 | 小松和夫 | 火・1，金・2 | | 10 | B | 12,800円 |
| 8 | 日本産業論 | 経済 | 松井隆幸 | 月・3，水・2 | | 5 | B | 12,800円 |
| 9 | 社会学総論 | 経済 | 飯田剛史 | 月・1，木・2 | | 10 | A | 12,800円 |
| 10 | 資源経済学 | 経済 | 増田信彦 | 月・2，火・5 | | 10 | B | 12,800円 |
| 11 | 労働経済論 | 経済 | 坂　幸夫 | 水・夜1，2 | | 3 | B | 12,800円 |
| 12 | 統計学 | 経済 | 唐渡広志 | 木・夜1，2 | | 3 | B | 12,800円 |
| 13 | 特殊講義　計量経済学実習 | 経済 | 本間哲志 | 木・5 | | 3 | B | |
| 14 | 金融機関論 | 経済 | 芳賀健一 | 火・夜1，2 | | 5 | B | 12,800円 |
| 15 | 財政学 | 経済 | 中村和之 | 金・夜1，2 | | 5 | B | 12,800円 |
| 16 | 国際経済学 | 経済 | 垣田直樹 | 水・1，金・3 | | 3 | C | 12,800円 |
| 17 | 経営管理論 | 経営 | 内田康郎 | 水・1，金・1 | | 5 | B | 12,800円 |
| 18 | 財務管理論 | 経営 | 高見茂雄 | 金・夜1，2 | | 5 | B | 12,800円 |
| 19 | 労務管理論 | 経営 | 馬　駿 | 火・2，木・1 | | 5 | B | 12,800円 |
| 20 | 財務会計論 | 経営 | 鈴木基史 | 火・夜1，2 | | 3 | B | 12,800円 |
| 21 | 国際会計論 | 経営 | 榊原英夫 | 月・3，水・2 | | 5 | C | 12,800円 |
| 22 | 流通総論 | 経営 | 河野三郎 | 月・3，水・2 | | 3 | A | 12,800円 |
| 23 | 流通総論 | 経営 | 河野三郎<br>岸本壽生 | 木・夜1，2 | | 3 | A | 12,800円 |
| 24 | 経営基礎数学 | 経営 | 白石俊輔 | 木・3 | | 5 | A | |
| 25 | 経営科学概説 | 経営 | 白石俊輔 | 火・夜1，2 | | 3 | A | 12,800円 |
| 26 | 意思決定論 | 経営 | 中島信之 | 火・1，金・2 | | 3 | B | 12,800円 |
| 27 | オペレーションズ・リサーチ | 経営 | 横山一憲 | 木・夜1，2 | | 5 | B | 12,800円 |
| 28 | 経営情報論 | 経営 | 古川　勝 | 水・夜1，2 | | 5 | A | 12,800円 |
| 29 | システム分析 | 経営 | 古川　勝 | 水・1，金・3 | | 3 | C | 12,800円 |
| 30 | 憲法 | 経営法 | 篠原　巌 | 火・夜1，2 | | 5 | A | 12,800円 |
| 31 | 行政法総論 | 経営法 | 萩野　聡 | 月・1，木・2 | | 5 | B | 12,800円 |
| 32 | 税法 | 経営法 | 伊藤嘉規 | 水・1，金・3 | | 5 | C | 12,800円 |
| 33 | 刑法総論 | 経営法 | 秋葉悦子 | 月・3，水・2 | | 3 | C | 12,800円 |

## 経済学部

講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 | | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学科等 | 氏名 | | | | | |
| 34 | 刑事訴訟法 | 経営法 | 近藤和哉 | 水・夜１，２ | | 10 | A | 12,800円 |
| 35 | 英米法 | 経営法 | 八木保夫 | 火・夜１，２ | | 3 | C | 12,800円 |
| 36 | 民法総則 | 経営法 | 中村肇 | 水・１，金・３ | | 5 | B | 12,800円 |
| 37 | 債権担保法 | 経営法 | 田沼柾 | 月・２，金・１ | | 3 | C | 12,800円 |
| 38 | 財産法Ⅰ | 経営法 | 長谷川隆 | 木・夜１，２ | | 5 | A | 12,800円 |
| 39 | 金融取引法 | 経営法 | 片岡宏一郎 | 木・夜１ | | 5 | B | |
| 40 | 経済法 | 経営法 | 西村暢史 | 月・３，水・２ | | 5 | A | 12,800円 |
| 41 | 国際取引法 | 経営法 | 澤井啓 | 火・２，木・１ | | 5 | B | 12,800円 |
| 42 | 国際企業法務 | 経営法 | 三浦哲男 | 金・２ | | 3 | B | |

※講義室については、「受講希望調書」提出時に受講生窓口で確認ください。

## 理　学　部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 解析学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 2 | 代数学序論 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 3 | 代数学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 4 | 代数学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 5 | 幾何学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 6 | 幾何学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 7 | 複素解析学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 8 | 実解析学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 9 | 線形代数学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 10 | 線形代数学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 11 | 解析学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 12 | 解析学要論 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 13 | 位相数学序論 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 14 | 位相数学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 15 | 複素解析学序論 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 16 | 位相数学Ⅱ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 17 | 複素解析学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 18 | 実解析学Ⅰ | 数学科 | | | | 若干名 | C | 開講時点以前の全必修科目を履修していること |
| 19 | 数理統計学 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 数学科全必修科目を履修していること |
| 20 | 微分方程式論 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 数学科全必修科目を履修していること |
| 21 | 応用数理 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 数学科全必修科目を履修していること |
| 22 | 離散数理 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 数学科全必修科目を履修していること |
| 23 | 情報数理 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 数学科全必修科目を履修していること |
| 24 | 数値解析 | 数学科 | | | | 若干名 | C | 数学科全必修科目を履修していること |
| 25 | 物理数学Ａ | 物理学科 | 栗本　猛 | | | ５名程度 | B | |
| 26 | 力学Ⅰ | 物理学科 | 石川義和 | | | ５名程度 | A | |
| 27 | 電磁気学Ⅰ | 物理学科 | 小田島仁司<br>森脇喜紀 | | | ５名程度 | A | |
| 28 | 熱統計学Ⅰ | 物理学科 | 岡部俊夫 | | | １０名程度 | A | |
| 29 | 量子力学Ⅰ | 物理学科 | 平山　実 | | | ５名程度 | B | |
| 30 | 物理数学Ｂ | 物理学科 | 谷村 | | | １０名程度 | C | 物理数学Ａを履修していること |
| 31 | 力学Ⅱ | 物理学科 | 桑井智彦<br>小田島仁司 | | | ５名程度 | B | 力学Ⅰを履修していること |
| 32 | 電磁気学Ⅱ | 物理学科 | 常川省三<br>松島房和 | | | ５名程度 | B | 電磁気学Ⅰを履修していること |
| 33 | 熱統計学Ⅱ | 物理学科 | 飯田　敏 | | | ５名程度 | B | 熱統計学Ⅰを履修していること |

## 理　学　部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 量子力学Ⅱ | 物理学科 | 浜本伸治 | | | ５名程度 | C | 量子力学Ⅰを履修していること |
| 35 | 光学 | 物理学科 | 松島房和 | | | ５名程度 | B | |
| 36 | 相対論 | 物理学科 | 浜本伸治 | | | ５名程度 | C | |
| 37 | 物性物理学Ａ1 | 物理学科 | 飯田敏<br>岡部俊夫 | | | ５名程度 | B | 量子力学・熱統計力学の初歩を履修していること |
| 38 | 物性物理学Ａ | 物理学科 | 飯田敏<br>岡部俊夫 | | | ５名程度 | B | 量子力学・熱統計力学の初歩を履修していること |
| 39 | 物性物理学Ａ2 | 物理学科 | 飯田敏<br>岡部俊夫 | | | ５名程度 | B | 量子力学・熱統計力学の初歩を履修していること |
| 40 | 物性物理学Ｂ1 | 物理学科 | 石川義和<br>桑井智彦 | | | ５名程度 | B | 量子力学・熱統計力学の初歩を履修していること |
| 41 | 物性物理学Ｂ2 | 物理学科 | 石川義和<br>桑井智彦 | | | ５名程度 | B | 量子力学・熱統計力学の初歩を履修していること |
| 42 | 核物理学Ａ | 物理学科 | 谷村 | | | １０名程度 | B | 量子力学Ⅰ・Ⅱを履修していること |
| 43 | 核物理学Ｂ | 物理学科 | 栗本猛 | | | ５名程度 | B | |
| 44 | 電磁波物理学Ａ | 物理学科 | 小田島仁司 | | | ５名程度 | B | |
| 45 | 電磁波物理学Ｂ | 物理学科 | 松島房和 | | | ５名程度 | B | |
| 46 | 物理実験学Ａ | 物理学科 | 森脇喜紀 | | | ５名程度 | B | |
| 47 | 物理実験学Ｂ | 物理学科 | 常川省三 | | | ５名程度 | B | |
| 48 | 化学反応学 | 化学科 | 高安紀 | | | 若干名 | B | |
| 49 | 量子化学 | 化学科 | 金坂績 | | | ５名程度 | B | |
| 50 | 化学熱力学 | 化学科 | 安田祐介 | | | 若干名 | B | |
| 51 | 分子分光学 | 化学科 | 石岡努 | | | １０名程度 | B | |
| 52 | 分子物性学 | 化学科 | 金坂績 | | | ５名程度 | B | |
| 53 | 反応有機化学 | 化学科 | 樋口弘行 | | | １０名程度 | B | |
| 54 | 環境化学計測 | 化学科 | 笠原一世 | | | 若干名 | B | |
| 55 | 基礎物理化学Ⅱ | 化学科 | 大澤力 | | | 若干名 | A | |
| 56 | 構造有機化学 | 化学科 | 山口晴司 | | | １０名程度 | B | |
| 57 | 遷移金属化学 | 化学科 | 金森寛 | | | １０名程度 | C | |
| 58 | 構造溶液化学 | 化学科 | 鈴木炎 | | | 若干名 | C | |
| 59 | 合成有機化学 | 化学科 | 平井美朗 | | | １０名程度 | B | |
| 60 | プログラミング実習 | 化学科 | 石岡努 | | | ５名程度 | B | |
| 61 | 遺伝学 | 生物学科 | 山田恭司 | | | ５名まで | C | |
| 62 | 動物生理学 | 生物学科 | 菊川茂 | | | ５名まで | B | |
| 63 | 生体応答学 | 生物学科 | 黒田英世 | | | 若干名 | B | |
| 64 | 発生制御学 | 生物学科 | 若杉達也 | | | ５名まで | C | |
| 65 | 基礎系統学 | 生物学科 | 鈴木邦雄 | | | １０名程度 | A | |
| 66 | 基礎生理学 | 生物学科 | 内山実 | | | ３名まで | B | |

## 理　学　部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67 | 基礎発生学 | 生物学科 | 小松　美英子 | | | １０名まで | B | |
| 68 | 基礎細胞学 | 生物学科 | 岩坪　美兼 | | | ５名程度 | A | |
| 69 | 基礎遺伝学 | 生物学科 | 山田　恭司 | | | ５名まで | B | |
| 70 | 植物分類学 | 生物学科 | 岩坪　美兼 | | | ５名程度 | B | |
| 71 | 動物系統進化学 | 生物学科 | 鈴木　邦雄 | | | １０名程度 | B | |
| 72 | 動物行動学 | 生物学科 | 鈴木　邦雄 | | | １０名程度 | A | |
| 73 | 生体調節学 | 生物学科 | 内山　実 | | | ５名まで | C | |
| 74 | 動物発生学 | 生物学科 | 小松　美英子 | | | ３名まで | C | |
| 75 | 細胞生理学 | 生物学科 | 菊川　茂 | | | ５名まで | A | |
| 76 | 植物生態学 | 生物学科 | 和田　直也 | | | 若干名 | B | |
| 77 | 基礎動物形態学 | 生物学科 | 川本　恵一 | | | ５名 | A | |
| 78 | 生理活性物質化学 | 生物学科 | 川本　恵一 | | | ５名 | C | |
| 79 | 地球圏物理学序説 | 地球科学科 | 広岡　公夫 | | | 若干名 | A | |
| 80 | 一般地質学 | 地球科学科 | 大藤　茂 | | | 若干名 | A | |
| 81 | 地震学 | 地球科学科 | 竹内　章他 | | | 若干名 | B | |
| 82 | 岩石磁気学 | 地球科学科 | 広岡　公夫 | | | 若干名 | C | |
| 83 | 応用地球物理学 | 地球科学科 | 酒井　英男 | | | 若干名 | C | |
| 84 | 海洋底物理学1 | 地球科学科 | 藤　浩明 | | | 若干名 | B | |
| 85 | 海洋地質学 | 地球科学科 | 竹内　章 | | | 若干名 | B/C | |
| 86 | 火山学 | 地球科学科 | 小林　武彦 | | | ５名程度 | B | |
| 87 | 鉱床学 | 地球科学科 | 清水　正明 | | | 若干名 | B/C | |
| 88 | 基礎地球力学 | 地球科学科 | 対馬　勝年 | | | 若干名 | B | |
| 89 | 鉱物学 | 地球科学科 | 氏家　治 | | | 若干名 | B | |
| 90 | プレートテクトニクス | 地球科学科 | 広岡　公夫<br>清水　正明 | | | 若干名 | B/C | |
| 91 | 地球惑星物理学 | 地球科学科 | 酒井　英男 | | | 若干名 | B | |
| 92 | 地球連続体力学 | 地球科学科 | 川村　隆一 | | | 若干名 | C | |
| 93 | 雪氷学概論 | 地球科学科 | 対馬　勝年 | | | ５名程度 | B | |
| 94 | 雪氷物理学 | 地球科学科 | 対馬　勝年 | | | ５名程度 | C | |
| 95 | 物理探査学 | 地球科学科 | 酒井　英男 | | | 若干名 | C | |
| 96 | 層序学 | 地球科学科 | 小林　武彦 | | | ５名程度 | B | |
| 97 | 岩石学 | 地球科学科 | 氏家　治 | | | 若干名 | B | |
| 98 | 列島地質 | 地球科学科 | 大藤　茂 | | | 若干名 | C | |
| 99 | 地殻進化学 | 地球科学科 | 清水　正明 | | | 若干名 | C | |

## 理　学　部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100 | 地震科学 | 地球科学科 | 竹内　章<br>他 | | | 若干名 | B | |
| 101 | 自然災害アセスメント | 地球科学科 | 川村　隆一 | | | 若干名 | C | |
| 102 | 構造地質学 | 地球科学科 | 竹内　章 | | | １０名程度 | B | |
| 103 | 海域地震テクトニクス | 地球科学科 | 竹内　章<br>藤　浩明 | | | 若干名 | B | |
| 104 | 地球圏物理学特論 | 地球科学科 | 対馬　勝年 | | | 若干名 | C | |
| 105 | 地球流体力学 | 地球科学科 | 川村　隆一 | | | 若干名 | C | |
| 106 | 生理化学 | 生物圏環境科学科 | 野口　宗憲 | | | 若干名 | B | |
| 107 | 生体エネルギー論 | 生物圏環境科学科 | 井上　弘 | | | 若干名 | B | |
| 108 | 植生変動論 | 生物圏環境科学科 | 和田　直也 | | | 若干名 | B | |
| 109 | 環境地球化学 | 生物圏環境科学科 | 佐竹　洋 | | | ５名程度 | B | |
| 110 | 環境基礎化学 | 生物圏環境科学科 | 笠原　一世 | | | 若干名 | A | |
| 111 | 物理学序説Ⅰ | 生物圏環境科学科 | 水島　俊雄 | | | ５名程度 | A | |
| 112 | 物理学序説Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 平山　実 | | | ５名程度 | A | |
| 113 | 物理学概論Ⅰ | 生物圏環境科学科 | 高木　光司郎 | | | ５名程度 | A | |
| 114 | 物理学概論Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 高木　光司郎 | | | ５名程度 | A | |
| 115 | 化学序説Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 平井　美朗 | | | １０名程度 | A | |
| 116 | 化学概論Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 樋口　弘行 | | | ５名程度 | A | |
| 117 | 地球科学序説Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 各教官 | | | 若干名 | A | |
| 118 | 地球科学概論Ⅰ | 生物圏環境科学科 | 各教官 | | | 若干名 | A | |
| 119 | 地球科学概論Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 各教官 | | | 若干名 | A | |
| 120 | 生物圏環境科学概論Ⅰ | 生物圏環境科学科 | 井上　弘 | | | 若干名 | A | |
| 121 | 生物圏環境科学概論Ⅱ | 生物圏環境科学科 | 田口　茂 | | | １０名程度 | A | |

※授業担当教官、授業曜日・時限及び講義室については、「受講希望調書」提出時に受講生窓口で確認ください。

## 工　学　部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 | | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学科等 | 氏名 | | | | | |
| 1 | 微分積分２ | 非常勤講師 | 松田重生 | | | 5 | B | |
| 2 | 微分方程式１ | 電気電子システム工学科 | 小出眞路 | | | 5 | A | |
| 3 | 微分方程式２ | 電気電子システム工学科 | 小出眞路 | | | 5 | B | |
| 4 | 量子力学 | 電気電子システム工学科 | 上羽弘 | | | 5 | B | |
| 5 | 電磁気学１ | 電気電子システム工学科 | 龍山智榮 | | | 5 | B | |
| 6 | 電磁気学１ | 電気電子システム工学科 | 女川博義 | | | 5 | B | |
| 7 | 電磁気学演習１ | 電気電子システム工学科 | 岡田裕之 | | | 5 | B | |
| 8 | 電磁気学演習１ | 電気電子システム工学科 | 中茂樹 | | | 5 | B | |
| 9 | 電気回路１Ａ | 電気電子システム工学科 | 升方勝己 | | | 5 | A | |
| 10 | 電気回路１Ｂ | 電気電子システム工学科 | 作井正昭 | | | 5 | A | |
| 11 | 電気回路演習１ | 電気電子システム工学科 | 大路貴久 | | | 5 | A | |
| 12 | アナログ電子回路１ | 電気電子システム工学科 | 佐々木和男 | | | 5 | B | |
| 13 | アナログ電子回路２ | 電気電子システム工学科 | 佐々木和男 | | | 5 | B | |
| 14 | アナログ電子回路演習 | 電気電子システム工学科 | 佐々木和男 | | | 5 | B | |
| 15 | 電気エネルギー伝送工学 | 電気電子システム工学科 | 髙橋隆一 | | | 5 | B | |
| 16 | 電気機器工学１ | 電気電子システム工学科 | 大路貴久 | | | 5 | B | |
| 17 | プラズマ理工学 | 電気電子システム工学科 | 坂井純一 | | | 5 | C | |
| 18 | 計算電磁工学 | 電気電子システム工学科 | 村井忠邦 | | | 5 | C | |
| 19 | システム制御工学第２ | 電気電子システム工学科 | 佐々木和男 | | | 5 | C | |
| 20 | 電気電子材料工学 | 電気電子システム工学科 | 山崎登志成 | | | 5 | B | |
| 21 | 電子物性工学１ | 電気電子システム工学科 | 龍山智榮 | | | 5 | B | |
| 22 | 量子効果デバイス | 電気電子システム工学科 | 龍山智榮 | | | 5 | C | |
| 23 | 量子光工学 | 電気電子システム工学科 | 上羽弘 | | | 5 | B | |
| 24 | 半導体デバイス１ | 電気電子システム工学科 | 女川博義 | | | 5 | B | |
| 25 | 光・電子デバイス | 電気電子システム工学科 | 女川博義 | | | 5 | B | |
| 26 | 微分方程式 | 知能情報工学科 | 角畠浩 | | | 10 | A | |
| 27 | 離散数学 | 知能情報工学科 | 川田勉 | | | 5 | A | |
| 28 | 電気回路工学 | 知能情報工学科 | 中嶋芳雄 | | | 3 | B | |
| 29 | 電子回路工学 | 知能情報工学科 | 袋谷賢吉 | | | 10 | B | |
| 30 | 論理情報回路 | 知能情報工学科 | 唐政 | | | 10 | A | |
| 31 | 電磁波工学 | 知能情報工学科 | 三日市政司 | | | 10 | B | |
| 32 | オートマトン・言語理論 | 知能情報工学科 | 米田政明 | | | 5 | B | |
| 33 | 多変量解析論 | 知能情報工学科 | 長谷博行 | | | 5 | B | |

## 工　学　部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 計算論 | 知能情報工学科 | 広瀬貞樹 | | | 3 | C | |
| 35 | 意味解析論 | 知能情報工学科 | 河崎善司郎 | | | 3 | C | |
| 36 | データベース論 | 知能情報工学科 | 山淵龍夫 | | | 10 | C | |
| 37 | 高度通信方式 | 知能情報工学科 | 川田勉 | | | 5 | B | |
| 38 | 情報メディア学 | 知能情報工学科 | 唐政 | | | 10 | B | |
| 39 | 情報セキリュティ | 知能情報工学科 | 田島正登 | | | 5 | B | |
| 40 | 人工知能基礎 | 知能情報工学科 | 河崎善司郎 | | | 3 | A | |
| 41 | 視覚情報処理 | 知能情報工学科 | 中嶋芳雄 | | | 3 | B | |
| 42 | 音情報学 | 知能情報工学科 | 廣林茂樹 | | | 20 | B | |
| 43 | 仮想現実感方式 | 知能情報工学科 | 石井雅博 | | | 10 | B | |
| 44 | ブレインコンピューティング | 知能情報工学科 | 袋谷賢吉 | | | 10 | C | |
| 45 | 微分積分第２ | 機械知能システム工学科 | 瀬田剛 | | | 5 | C | |
| 46 | 線形代数第２ | 機械知能システム工学科 | 早川英治郎 | | | 5 | C | |
| 47 | 材料力学第２ | 機械知能システム工学科 | 五嶋孝仁 | | | 5 | B | |
| 48 | 強度設計工学 | 機械知能システム工学科 | 塩澤和章 | | | 5 | B | |
| 49 | 材料強度演習第２ | 機械知能システム工学科 | 塩澤和章 他 | | | 5 | B | |
| 50 | 要素設計学第２ | 機械知能システム工学科 | 西野精一 | | | 5 | C | |
| 51 | 生産加工学演習 | 機械知能システム工学科 | 山田茂 | | | 5 | A | |
| 52 | 精密加工学 | 機械知能システム工学科 | 山田茂 | | | 5 | B | |
| 53 | 基礎材料工学 | 機械知能システム工学科 | 松木賢司 | | | 5 | B | |
| 54 | 基礎流体工学 | 機械知能システム工学科 | 奥井健一<br>川口清司 | | | 5 | B | |
| 55 | 流体力学 | 機械知能システム工学科 | 奥井健一 | | | 5 | B | |
| 56 | 環境数値解析工学 | 機械知能システム工学科 | 瀬田剛 | | | 5 | B | |
| 57 | 機械力学 | 機械知能システム工学科 | 小泉邦雄 | | | 3名程度 | C | |
| 58 | 動的設計解析学 | 機械知能システム工学科 | 小泉邦雄<br>佐々木基文 | | | 3名程度 | C | |
| 59 | 機械動的解析演習 | 機械知能システム工学科 | 小泉邦雄<br>佐々木基文 | | | 3名程度 | C | |
| 60 | 制御工学演習 | 機械知能システム工学科 | 大住剛<br>小原治樹 | | | 3名程度 | C | |
| 61 | 制御理論第２ | 機械知能システム工学科 | 大住剛 | | | 3名程度 | C | |
| 62 | 制御要素 | 機械知能システム工学科 | 小原治樹 | | | 3名程度 | B | |
| 63 | 応用情報工学 | 機械知能システム工学科 | 田代発造 | | | 5名以下 | B | |
| 64 | 計測工学・精密測定学演習 | 機械知能システム工学科 | 伊藤紀男 | | | 5名以下 | B | |
| 65 | 基礎情報工学 | 機械知能システム工学科 | 岩城敏博 | | | 5名以下 | A | |
| 66 | シミュレーション工学 | 機械知能システム工学科 | 岩城敏博 | | | 5名以下 | C | |

## 工学部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67 | ソフトウェア工学演習 | 機械知能システム工学科 | 岩城敏博 | | | 5名以下 | B | |
| 68 | 機械情報理論 | 機械知能システム工学科 | 岩城敏博 | | | 5名以下 | B | |
| 69 | 微分積分２ | 非常勤講師 | 山口悟 | | | 10 | A | |
| 70 | 線形代数２ | 非常勤講師 | 山口悟 | | | 10 | A | |
| 71 | 応用数学３ | 物質生命システム工学科 | 西村克彦<br>山﨑量平 | | | 10 | B | |
| 72 | 無機化学２ | 物質生命システム工学科 | 蓮覚寺聖一<br>會澤宣一 | | | 10 | A | |
| 73 | 基礎有機化学２ | 物質生命システム工学科 | 黒田重靖<br>米山嘉治 | | | 10 | A | |
| 74 | 生物学 | 物質生命システム工学科 | 磯部正治<br>小平憲一 | | | 5 | B | |
| 75 | 物理化学２ | 物質生命システム工学科 | 諸橋昭一<br>高瀬均 | | | 10 | A | |
| 76 | 資源化学 | 物質生命システム工学科 | 椿範立 | | | 5 | B | |
| 77 | 生物有機化学 | 物質生命システム工学科 | 小野慎 | | | 5 | C | |
| 78 | 有機化学２ | 物質生命システム工学科 | 小田晃規 | | | 10 | B | |
| 79 | 構造有機化学 | 物質生命システム工学科 | 黒田重靖 | | | 10 | C | |
| 80 | 工学特論（配位化学） | 非常勤講師 | 山口悟 | | | 10 | C | |
| 81 | 工学特論（錯体化学） | 物質生命システム工学科 | 會澤宣一 | | | 5 | C | |
| 82 | 物理有機化学 | 物質生命システム工学科 | 吉村敏章 | | | 5 | C | |
| 83 | 機器分析化学１ | 物質生命システム工学科 | 長谷川淳<br>加賀谷重治 | | | 5 | B | |
| 84 | 機器分析化学２ | 物質生命システム工学科 | 長谷川淳 | | | 5 | B | |
| 85 | 生体高分子化学 | 物質生命システム工学科 | 北野博巳 | | | 5 | C | |
| 86 | 高分子物理化学 | 物質生命システム工学科 | 伊藤研策 | | | 10 | C | |
| 87 | 生化学２ | 物質生命システム工学科 | 小野慎 | | | 5 | B | |
| 88 | 生命物性工学１ | 物質生命システム工学科 | 畠山豊正 | | | 5 | C | |
| 89 | 生物物理化学 | 物質生命システム工学科 | 小平憲一 | | | 5 | C | |
| 90 | 基礎生理学 | 物質生命システム工学科 | 黒澤信幸 | | | 5 | A | |
| 91 | 生命情報工学 | 物質生命システム工学科 | 磯部正治 | | | 3 | C | |
| 92 | 生命計測工学 | 物質生命システム工学科 | 山口昌樹 | | | 10 | B | |
| 93 | マイクロメリティックス | 物質生命システム工学科 | 山本健市 | | | 5 | B | |
| 94 | 粉体プロセス工学２ | 物質生命システム工学科 | 高瀬均 | | | 5 | C | |
| 95 | 移動現象論１ | 物質生命システム工学科 | 吉田正道 | | | 5 | B | |
| 96 | 多相系移動現象論 | 物質生命システム工学科 | 吉田正道 | | | 5 | C | |
| 97 | 反応工学１ | 物質生命システム工学科 | 星野一宏 | | | 5 | B | |
| 98 | 生物反応工学 | 物質生命システム工学科 | 星野一宏 | | | 5 | B | |
| 99 | 拡散操作論 | 物質生命システム工学科 | 川崎博幸 | | | 5 | B | |

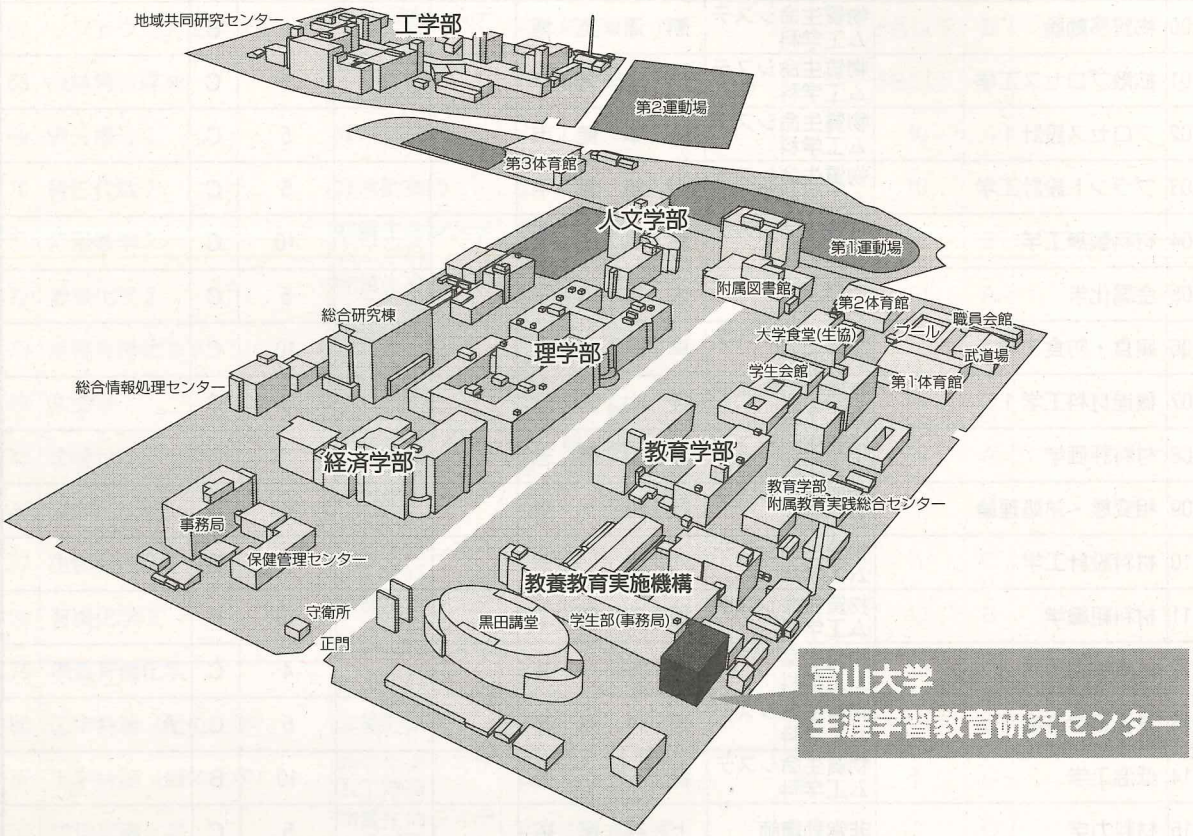
## 工 学 部

授業曜日・時限、講義室は９月中旬に決定の予定です。

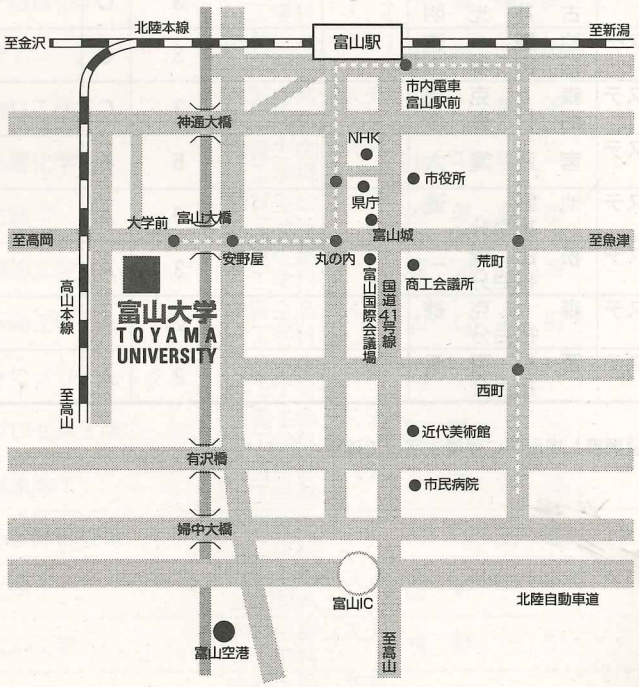
| 番号 | 授業科目名 | 担当教官 学科等 | 担当教官 氏名 | 授業曜日・時限 | 講義室 | 受入可能人数 | 難易度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100 | 物質移動論 | 物質生命システム工学科 | 熊澤英博 | | | 5 | B | |
| 101 | 拡散プロセス工学 | 物質生命システム工学科 | 川崎博幸 | | | 5 | C | |
| 102 | プロセス設計１ | 物質生命システム工学科 | 山本健市 | | | 5 | C | |
| 103 | プラント設計工学 | 物質生命システム工学科 | 山﨑量平 | | | 5 | C | |
| 104 | 材料製錬工学 | 物質生命システム工学科 | 真島一彦 | | | 10 | C | |
| 105 | 金属化学 | 物質生命システム工学科 | 佐貫須美子 | | | 5 | C | |
| 106 | 腐食・防食工学 | 物質生命システム工学科 | 真島一彦 | | | 10 | C | |
| 107 | 機能材料工学１ | 物質生命システム工学科 | 寺山清志 | | | 5 | C | |
| 108 | 材料評価学 | 物質生命システム工学科 | 寺山清志 | | | 5 | C | |
| 109 | 相変態・熱処理論 | 物質生命システム工学科 | 穴田博 | | | 5 | A | |
| 110 | 材料設計工学 | 物質生命システム工学科 | 穴田博 | | | 5 | B | |
| 111 | 材料組織学 | 物質生命システム工学科 | 松田健二 | | | 10 | B | |
| 112 | 組織制御工学 | 物質生命システム工学科 | 池野進 | | | 4 | C | |
| 113 | 量子工学序論 | 物質生命システム工学科 | 西村克彦 | | | 5 | C | |
| 114 | 低温工学 | 物質生命システム工学科 | 森克徳 | | | 10 | B | |
| 115 | 材料力学 | 非常勤講師 | 上谷保裕 | | | 5 | C | |
| 116 | 材料化学実験 | 物質生命システム工学科 | 真島一彦<br>佐貫須美子<br>砂田聡 | | | 3 | C | |
| 117 | 機能材料工学実験 | 物質生命システム工学科 | 寺山清志<br>島﨑利治<br>橋爪隆 | | | 3 | C | |
| 118 | 材料設計工学実験 | 物質生命システム工学科 | 穴田博<br>古井光明 | | | 3 | C | |
| 119 | 材料物性工学実験 | 物質生命システム工学科 | 池野進<br>松田健二 | | | 3 | C | |
| 120 | 応用物性工学実験 | 物質生命システム工学科 | 森克徳<br>西村克彦 | | | 3 | C | |
| 121 | 工学特論（科学と技術概論） | 物質生命システム工学科 | 宮武滝太 | | | 5 | B | |
| 122 | 工学特論（専門基礎ゼミナール） | 物質生命システム工学科 | 池野進<br>担当分 | | | 3 | A | |
| 123 | 工学特論（専門基礎ゼミナール） | 物質生命システム工学科 | 松田健二<br>担当分 | | | 3 | A | |
| 124 | 工学特論（専門基礎ゼミナール） | 物質生命システム工学科 | 森克徳<br>担当分 | | | 2 | A | |
| 125 | 工学特論（専門基礎ゼミナール） | 物質生命システム工学科 | 西村克彦<br>担当分 | | | 2 | A | |

※授業曜日・時限及び講義室については、「受講希望調書」提出時に受講生窓口で確認ください。

# 建物配置図




# 交通のご案内




＊交通機関　ＪＲ富山駅から所要時間約20分

①市内電車「大学前」行「大学前」で下車

②バス「高岡駅」「新湊」「新港東口」「医薬大」行
「富山大学前」で下車

※高速道路　富山ICから約20分

※空　　路　富山空港から車で約30分

平成　　年　　月　　日

# 富山大学公開授業　受講希望調書

〒

住 所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電 話＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

富山大学公開授業として，下記授業科目の受講を希望しますので，よろしくお願いします。

記

学 部 等 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

授 業 科 目（番号　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担 当 教 官＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

授業曜日・時限　　曜日　　時限＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 本調書は，1授業科目ごとに1枚とし、9月17日（火）～9月30日（月）までに生涯学習教育研究センターに提出してください。（郵送も受付けます。）なお、複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
また、募集定員を超えた場合には、募集を締め切らせていただきますので、お早めに提出願います。




**富山大学生涯学習教育研究センター**

Center for Education and Research of Lifelong Learning TOYAMA UNIVERSITY

〒930-8555　富山市五福3190番地　TEL076-445-6956　FAX076-445-6960

ホームページアドレス　http://www.life.toyama-u.ac.jp/

Eメール：lifelong@life.toyama-u.ac.jp